

県議会 だより いしかわ



石川県議会
マスコットキャラクター
石若丸
いし わか まる

3年ぶりの まつりが続々 地域の伝統を 絶やさず次世代へ

新型コロナウイルス感染症の影響で、県内各地のまつりは中止や縮小を余儀なくされてきましたが、今年は、3年ぶりに開催する地域が増えています。

5月は青柏祭（七尾市）やお旅まつり（小松市）、おかえり祭り（白山市）がそれぞれ行われ、6月は金沢百万石まつり（金沢市）が開かれました。

まつりは、地元への誇りや愛着をはぐくむのみならず、交流人口の拡大に貢献する観光資源としても期待されています。県議会では、大切な伝統文化が途絶えることなく未来へと受け継がれていくよう、さまざまな形で力を尽くしていきます。



青柏祭



お旅まつり



おかえり祭り



金沢百万石まつり

はっと石川
旅ねっとで
イベント等を
紹介しています



今 号 の
トピックス

- 令和4年第3回 石川県議会定例会
- 石若丸が教える！1からわかる「県議会教室」

石川県議会
第3回定例会
5/26～6/21

令和4年第3回 石川県議会定例会を開催しました

石川県議会では、定例会を開催して県政の諸課題について議論しています。第3回定例会は5月26日から6月21日にかけて開催しました。知事からは、新型コロナウイルス感染症対策や原油・原材料価格の高騰対策、カーボンニュートラルの推進など、現時点で対応が必要になったものについて、補正予算案などの提案がありました。これを受けて県議会は、提案された議案および県政の諸課題について活発に質問を行い、議論を交わしました。

なお、提案された補正予算のうち、新型コロナウイルス感染症の影響で売上げが減少した事業者に対する事業復活支援金を拡充する補正予算案については、緊急を要することから開会日に質疑を行い可決しました。

令和4年 第3回定例会日程

5月26日
開会

知事提出議案説明
事業者支援予算の質疑、採決

30日
代表質問

6月1日、7日、9日
一般質問

14日、16日
予算委員会(質疑)

17日
4常任委員会
予算委員会
(採決)

21日
採決、閉会

審議の結果

議論を経て、審議を行った結果、以下のような議案が可決されました。可決された議案に従い、事業が実行に移されていくこととなりますが、それぞれの目的に沿って実効性のあるものとなるよう、今後も取り組み状況をチェックしていきます。

可決された主な議案

《意見書》・地方たばこ税を分煙環境整備に活用できる制度の創設を求める意見書

《予算》・令和4年度石川県一般会計補正予算

《条例》・ふるさと石川の環境を守り育てる条例の一部を改正する条例(環境影響評価法の対象外となる規模の風力発電所の手続を規定)

《事件議決》・財産の取得(空港用化学消防車、ロータリ除雪車)

《人事》・石川県副知事の選任につき同意を求めること



県議会定例会・委員会での質問内容は、県議会ホームページや議会図書室でご覧いただけます。

※県議会ホームページは「石川県議会」と検索してください。スマートフォンやタブレット型端末でもご利用いただけます。



主な質問と答弁

第3回定例会代表質問等での質疑の一部を掲載します。

就任後初の予算編成

Q. 6月補正予算は馳知事就任後初の予算編成となったが、どのような点に意を用いたのか。

A. ウィズコロナを念頭に、感染症の長期化により厳しい状況が続いている事業者をしっかりと支援することに加え、原油・原材料価格の高騰がコロナ禍からの回復の足枷とならないよう国の対策を補完する形で必要な対策を講じ、地域経済の回復を確かなものとしていく必要がある。このため、「新型コロナウイルス感染症対策」と「原油・原材料価格の高騰対策」を最優先に編成した。

加えて、グリーン化、デジタル化の推進、北陸新幹線の県内全線開業効果の最大化、少子化対策、女性活躍の推進、防災・減災対策にもしっかりと意を用いて編成した。

県内産科医の適正配置

Q. 県が前面に出て、できる限り県内産科医の偏在を解消すべきではないか。

A. 先般の輪島病院の医療事故を受け、まずは能登北部における安全・安心な周産期医療の確保に向けて、地元自治体、病院、大学など関係者の意見を聴いている。

県民が安心して出産できる環境づくりは、能登北部のみならず、県全体の問題と考えており、7月を目途に、周産期医療の提供体制について、関係者が一堂に会し、現状の課題を共有し協議する場を設ける。どのようなことができるのか、関係者の皆さんとしっかりと検討し、方向づけをしていきたい。

能登地域でのトキ放鳥

Q. 受け入れ準備をしっかりと進めていく必要があるが、能登地域でのトキ放鳥にかかる意気込みを聞く。

A. トキの放鳥は、農林水産物のブランド化や観光客の増加など、能登地域のさらなる活性化に大いにつながるものと考えている。

加えて、トキの放鳥は、将来の夢と前置きしつつ、これまで全県的に進めてきた生物多様性の確保や里山里海の利用保全のシンボルと申し上げてきており、能登はもとより県を挙げて取り組んでいかなければならないと思っている。

一日も早くトキが生息できるような環境を取り戻し、次の世代に継承していくためにも、県民の皆様と一丸となって、しっかりと取り組んでいきたい。

今年度の観光施策方針

Q. 新幹線県内全線開業PR戦略実行プランの策定を含めた今年度の観光施策方針を聞く。

A. 北陸新幹線の敦賀延伸効果を最大化するために北陸三県が連携し、誘客キャンペーンを切れ目なく実施するとともに、首都圏等に向けた情報発信強化や広域周遊観光の促進などに三県共同で取り組む。

加えて、「文化・歴史・食」といった文化資源を観光誘客につなげる「文化観光」を推進する必要があると考えている。こうした視点を盛り込み、三大都市圏等からの誘客拡大に向けた「新幹線県内全線開業PR戦略実施プラン」を策定し、観光産業の回復はもとより、2年を切った県内全線開業効果の最大化につなげていきたい。

議長、副議長の挨拶

石川県議会議長(第104代)

いしだ ただお
石田 忠夫

20年ぶり2度目の議長就任となりました。コロナ禍からの地域経済の再生をはじめ、県政の諸課題に積極果敢に挑むとともに、活発な議論が尽くされるよう円滑な議会運営に努め、誠心誠意全力で県勢の発展に取り組んでまいります。



石川県議会副議長(115人目)

ふわ ひろひと
不破 大仁

微力ではありますが、議長をしっかりとお支えし、議会の円滑な運営と県勢のさらなる発展のため、精一杯の努力をさせていただきます。皆様のご指導とご協力を心からお願い申し上げます。



第9回

石若丸が教える!
1からわかる「県議会教室」



議員定数、 各選挙区議員数の見直し

県議会の役割や仕事を紹介するシリーズ企画「県議会教室」。第9回のテーマは、「議員定数、各選挙区議員数の見直し」です。この内容について説明します。

石川県議会議員の定数を削減

Question

今回、県議会議員の定数を削減したとのことですが、どのような見直しが行われたのですか。

Answer

現在、県議会には各選挙区から選出された議員が43名いますが、5年ごとに実施される国勢調査で公表された人口に基づき、これまでも必要に応じて議員定数等の見直しが行われてきました。

今回の見直しは、令和2年に実施された国勢調査の結果に基づくものですが、人口の多い選挙区の議員数が、人口の少ない選挙区の議員数よりも少なくなっている、いわゆる「逆転現象」について見直しを行いました。

逆転現象①

	加賀市選挙区	河北郡選挙区 (津幡町・内灘町)
令和2年国勢調査人口	63,220人	63,531人
現行議員数	3人	2人

逆転現象②

	羽咋市羽咋郡南部選挙区 (羽咋市・宝達志水町)	かほく市選挙区
令和2年国勢調査人口	32,528人	34,889人
現行議員数	2人	1人

見直し内容

「加賀市選挙区」及び「羽咋市羽咋郡南部選挙区」の議員数をそれぞれ1人削減し、逆転現象を解消しました。

【議員定数】

43人 → 41人(2人減)

【各選挙区議員数】

加賀市選挙区	3人 → 2人(1人減)
羽咋市羽咋郡南部選挙区	2人 → 1人(1人減)

※ この結果、「羽咋市羽咋郡南部選挙区」と「かほく市選挙区」の間の「一票の較差」についても2倍を下回ることとなりました。

令和4年第3回定例会で上記内容の改正条例が可決され、令和5年4月に行われる石川県議会議員選挙から適用されます。

県議会の活動を伝える広報紙

県議会 だより

第41号

編集・発行 / 石川県議会(年4回発行)
令和4年7月26日発行

●お問い合わせ 石川県議会事務局企画調査課

〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地
TEL 076(225)1036 FAX 076(225)1037

石川県議会ホームページ <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/gikai/>

石川県議会

検索



県議会に対する
ご意見・ご提言を
お寄せください。

県議会では、県民の声を取り入れた運営に力を注いでいます。ご意見やご提言は、下記のE-mailからもお送りいただけます。ぜひ皆さまの思いを、県議会にお伝え願います。



メールアドレス

gikai@pref.ishikawa.lg.jp